

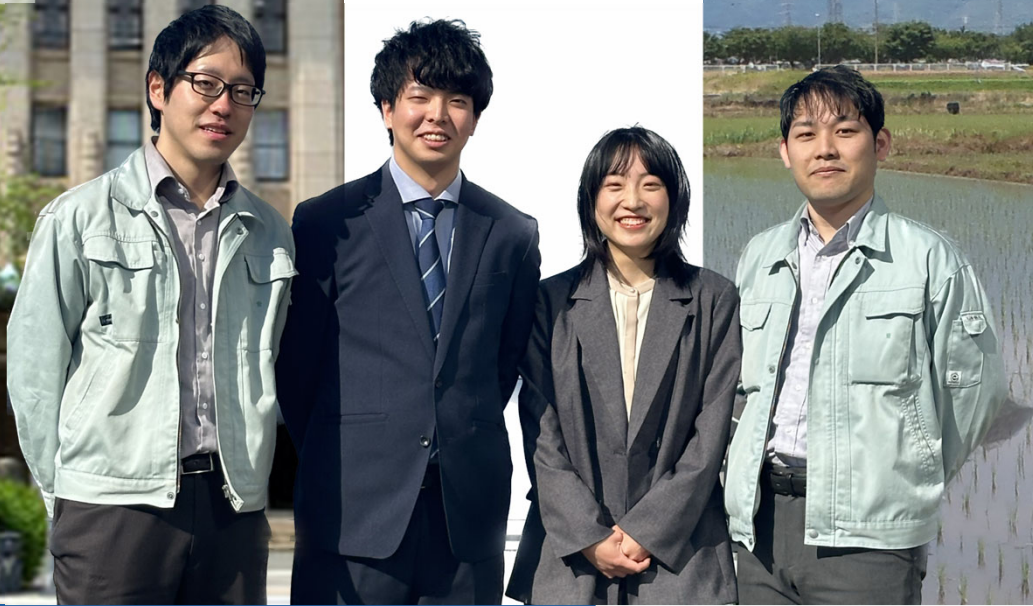


神奈川県

KANAGAWA

未来の食を支える。

神奈川県庁 農業土木職の紹介



土木にとどまらない農業土木の仕事

都市農業の持続的発展を支えるかながわの

みどり
水 土 里

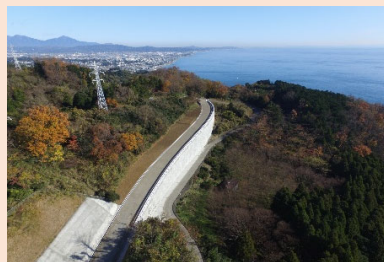
水

農地に水を届ける
農業水利施設の整備



土

生産性を向上させる
農業生産基盤の整備



里

農業の多面的機能を
県民に広める取組



プライベートの充実

- ・年次休暇や夏季休暇等の休暇制度があり、取得を推進しています。
- ・拡大時差出勤制度を利用し、終業後の時間を有効に活用できます。
- ・モバイルパソコンが1人1台配備され、テレワークが行いやすい環境です。



家庭と仕事の両立

- ・育児休暇や部分休業を利用し、業務時間を短縮して育児に充てることができます。
- ・子の看護休暇や育児参加休暇が利用できるなど、家庭の緊急事態に対するサポートが充実しています。



職員の声（1）



川上副技幹
入庁28年目

神奈川県で管理している農業用取水施設で一番大きいものは、約2,000haの農地に水を供給しています。水路や取水堰の改修工事が終わり、田植えが始まると農産物を県民のみなさんに供給する基礎の部分に関わることができたと感じます。本県は都市化が進み、農地も減少してきていますが、一方で農地が身近にある生活がいい、との意見を多く聞きます。農地は農産物の生産の場だけではなく、生物の生息場や人々にやすぎを与えてくれる場所でもありますので、多くの農地を次世代に残していきたいと思っています。



藪田副技幹
入庁27年目

小田原市西部の農山村地域の幹線農道となる広域農道の橋梁工事を担当しました。道がなかった山や谷に新たに橋が出来上がっていく様子は、モノづくりの醍醐味を感じることができました。また、整備した農道が地域のために利用されていく様子も見ることができるため、地域の役に立っているというやりがいも感じることができます。



吉田主任技師
入庁11年目

現在、農業農村整備事業の全体計画の企画立案・調整を担当しています。農業土木の魅力は、地元に行って要望を聞き、それを事業化し、整備を行い、整備した農地や施設が利用され育まれた農作物が県民の食卓に届くという、一連の全てに携われることだと思っています。

また、休日には入庁時から所属している県庁野球部にて、毎週末、試合や練習で汗を流しています。野球部を通して知り合った様々な部署の人たちと飲み会や旅行に行くこともあり、共通の趣味を通して交友関係を広げ、日々楽しんでいきます。



立石技師
入庁7年目

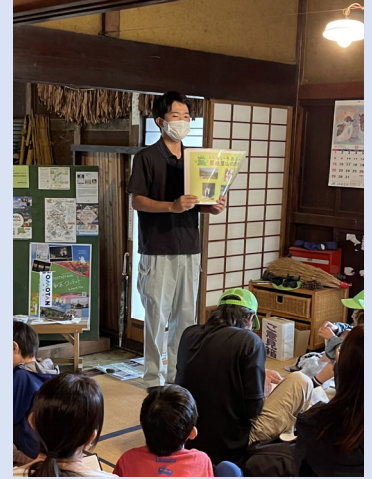
現在、県庁農地課で農地整備関係等の事業実施に向けた進捗管理と予算執行の管理を行っています。担当の整備地区での国庫補助事業の事業費確保のため、国との調整を行い、整備に必要な予算確保ができたときに仕事のやりがいを感じます。

また、育児部分休業を取得させていただいており、平日も子どもと触れ合える時間を作れているので、大変助かっています。



向井技師
入庁7年目

私は農業農村基盤整備を担当しており、ほ場に水をやるための給水ポンプの整備をしていました。そのときに農業の収量増加や担い手増加につながるなどの効果を実感し、事業実施の価値を感じると同時に、やりがいを感じます。休日にはサッカー観戦に行ったり、湘南地域をドライブしたり、最近では富士山登頂するなど、自然に触れることで、気分転換をしています。



倉吉技師
入庁3年目

私は里地里山地域や中山間地域の農地を保全する事業を担当しています。日常の事務作業に加えて、現地調査、イベント等の開催、出席が主な業務です。現地へ出張する機会も多いため、里地里山等の魅力を肌で感じ、SNSで発信出来た時や、事業により再生した農地を見たときにやりがいを感じます。農業土木職は土木工事のようなハード系の仕事以外にも私のようなソフト系の仕事も多くあり、幅広い業務を通して県の農業や農村の振興に携わることが魅力です。

◎より詳しく農業土木職の業務を知りたい方は、下記の「環境農政局 農水産部農地課」のホームページを御覧ください。

【農地課ホームページURL】

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/n8f/index.html>



問合せ先

神奈川県 環境農政局 農水産部 農地課（担当者：佐藤、岸田）TEL：045-210-4468（直通）
神奈川県横浜市中区日本大通1（〒231-8588）